

事務事業 No./名 称	■サービス部門 生涯-20 博物館整備事業				ザイムスコード及び個別事業名	
	□支援部門				1338	博物館整備事業
主管課	文化財課	関連課	鎌倉国宝館、世界遺産登録推進担当、文化・教養施設整備担当			
分野名	歴史環境					
目標 (目標値)	発掘調査出土品、民俗資料及び中世鎌倉を中心とした鎌倉の歴史資料等の整理、保管、研究、公開及び学習の場となる博物館の早期の整備を図る。					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考		
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状 況	決算値	11,382千円	560千円			
	(国・県)					
	(負担金等)					
	(一般財源)	11,382千円	560千円			
	人員配置数	0.5人	0.5人			
	人 件 費	4,813千円	4,749千円			
	協 働 の パートナー					
事務事業 運営経費	総事業費	16,195千円	5,309千円			
	市民1人当 りの経費	92円	30円			
	対象者1人 当りの経費					
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (仮称)鎌倉博物館は、中世鎌倉の調査研究、発掘調査の出土遺物の保管・公開展示のため、早期の実現に向け着実な事業の推進を図っていかなければならない。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 野村総合研究所跡地整備を再検討する中で、(仮称)鎌倉博物館の整備にかかる今後の基本方針をまとめた。				
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 整備計画及び基本方針に沿って段階的な整備を実施しなければならない。				
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 発掘調査体制の改善、出土資料整理と刊行物の遅れの改善、発掘調査実施開始時期の短縮のため、整備計画及び基本方針にもとづいて、関係部局とも連携・協力しながら学識経験者の助言・指導のもと、さらに詳細に検討し財団法人の設立・(仮称)埋蔵文化財センター・展示施設の建設を図っていく。				
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)		
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	中世鎌倉の調査研究、発掘調査の出土遺物の保管・公開展示のために、博物館の整備を着実に推進していく必要がある。		評価結果	改善の必要性	博物館は、出土遺物の保管・公開展示、中世史の研究、中世鎌倉の歴史教育の場として、また、世界遺産登録にあたっては、そのガイダンス施設としても必要なものであり、着実に整備を推進していく必要がある。
A	有			A	有	
課長名		永 井 正 憲		部名・部長名		植 松 芳 子